

# 専修大学 図書館だより

No. 85  
2015. 4

## Contents

- ・ 巻頭エッセイ  
ライブラリー・ランドへの招待
- ・ 学生さんに聞きました！  
How about your library life?
- ・ インフォメーション
- ・ 開館カレンダー
- ・ 裏面特集 〈春の企画展〉  
レディ・Sからの挑戦状～謎解きは授業のあいまに～

# ライブラリー・ランドへの招待



専修大学図書館長 木幡 文徳

最初に、皆さんの専修大学への入学を心より歓迎いたします。これから皆さんは、大学が、皆さんの主に知的成長を促すために準備した様々な設備を備えたキャンパスで、多くの時間を過ごすこととなります。そのうちでも、大学にとって重要・不可欠というべき設備である図書館へお誘いをして、皆さんの専修大学での学生生活が実り多いものであることを願う次第です。

皆さんは、図書館にはどのようなイメージを持っておられるでしょうか。「図書館は、書物という形での情報を一定の指標の下に集積・整理し、なんらかの目的で一定の情報を求めてアクセスしてきた人ができるだけ容易に適切な形で情報を獲得することを支援するというサービスを行う場所である」、基本的にはそのようなイメージを持っておられるのではないかと推測します。そこでは、整理整頓された書物が所蔵される何層にも重なった書庫の存在と、その書庫から取り出された書物を読むということで自分の求める情報を取得する作業を行う場所である閲覧室（読書室・リーディングルーム）が想起されることでありましょう。もちろん、図書の貸し出しという形で利用者が自宅やその他の任意の場所で利用することも予定され、基本的には図書館の役割は、この二つ、つまり情報の集積と提供に集約され、今日でも変わらないもの

と考えられます。そして、専修大学図書館も、学問の府である大学の図書館でありますから、そこで行われる研究・教育を支えるという意義を持ち、設置されている学部の対象とする学問領域に関わる情報が充実しているという点で、他の図書館に対して特色を有しているということになります。

ところで、情報という点に関しては、情報そのものが書物ではなく、DVD・CDなどの形態をとり、また様々な形でのPC端末の開発により情報そのものが形を変えてきており、図書館としても、書物以外の形での情報の集積と利用の提供にも力を注ぐことが必要となります。そしてさらには、その情報を利用し個人個人の知力に変化させていく場としても機能すること、具体的にはPC端末を利用し、更には得られた情報を複数の利用者と共有するという場の提供も図書館の重要な役割となります。そこで、皆さんには、是非、図書館の持つこの新しい機能・役割にも注目し利用してほしいのです。それは、ブラウジングプラザ（生田9号館3階）、アクティブラーニング・プラザ（生田9号館4階）、神田5号館ラーニング・コモンズであり、学習コーナー・グループ学習エリアなどと称されている場所です。特に図書館では個人・個人が静かに書物に目を向けつつ自己の知的活動を行う場所であるとの従来の概念からすれば、図書館にも互いに意見の交換を行うことができる場所があるというのは、革命的ともいえることであろうと思います。いまや、図書館は極めて多様な知的楽しみを利用者に与えてくれる場所なのです。そこでこの場を敢えてライブラリー・ランドと呼んで図書館の持つ知的エンターテインメント性を強調し、皆さんをご招待する次第です。是非このライブラリー・ランドに足を踏み入れて、知的遊戯を存分に行うことを期待する次第です。



大学院法学研究科博士後期課程1年  
山崎 裕美子 さん

# 学生さんに聞きました！ How about your library life ?

## 第1回選書ツアー

昨年 11/11 (火) に三省堂書店神保町本店にて選書ツアーを開催しました。学生のみなさんが実際に書店に行き、直接本を手に取りながら図書館に置いて欲しい本を選び、POPを作ってもらいます。イベントに参加して図書や図書館に興味を持ってもらうことを目的に実施しました。今回は参加者の中から 2 名にお話を聞きました！



法学部法律学科2年  
新谷 孝 さん

**Q:** 参加した動機は何ですか？

**A:** まずは、大学のお金で欲しい本が買える！というのがありました。次に、堂々と本屋のなかを徘徊するのは楽しいだろうな、と。実際に思う存分歩き回り、本を開きまくりました。

**Q:** 選書した基準はありましたか？

**A:** ふらりと棚を眺めたときに「なんだこれ。」と思った題名と、序文にあたる部分を斜め読みして「へえ。」と感じた文章の本を選んでみました。分野は自身の専門とは全く関係ありません(笑)。また一冊は、個人的に購入して面白かった本をお願いします。

**Q:** 実際に参加してどうでしたか？

**A:** 気軽に参加したのですが、選書は考えていたより難しかったです。自分の本棚に入るのと、図書館に行くのではなかなか違います。他の参加者の方と一緒にPOPを書くのは、想像以上に楽しかったです。完全に図画工作の時間になってました。一番感じたのは、大学の図書館には既に膨大な本があるのだなということです。本屋で、発売が最近だし多分まだ図書館にはないよな、と思って調べたらOPACに「あるよ」と複数回答されました。もう一回きちんと施設を歩いて倒さねばと思いました。



**Q:** 参加した動機は何ですか？

**A:** 大学に入ってから西洋古代哲学に興味を持ち、ソクラテスやプラトン、アリストテレスなどの本を古書店で買ったり、図書館で借りたりして読んでいました。神田分館には哲学関係の本が少なく、自分で読みたい本を選びたいと思っていたときに、このイベントを知り参加しました。また、大学に4年間通うということは図書館も4年間使うということなので、図書館の職員さんと交流したかったのもあります。

**Q:** 実際に参加してどうでしたか？

**A:** 参加前はひとりで選んで終わりかなと思っていましたが、実際書店に行ったときも、その後のPOP作成時も、普段話をする機会がない他の参加者と交流できたことが嬉しかったです。また、POPを学生が作って展示することで、他の学生の興味関心を知ることも出来ました。自分からも発信したことで、興味のある分野を再確認し、自己満足できました。自分が選んだ本が他の人に借りられたのも嬉しいし、間接的な交流にもなったと思います。



# インフォメーション



## 図書館講習会スケジュール (前期) 対象：本学学生

6月の情報検索講習会では、雑誌論文や新聞記事を探すためのオンライン・データベースの使い方や、資料の探し方のちょっとしたコツなどをご案内します。新入生はもちろん、レポート作成のために効率よく資料を探したい方はぜひご参加ください！

### 生田キャンパス (本館)

図書館利用案内 応用コース	年間随時	クラス・ゼミナール単位で受け付けます。 各種文献の探し方と入手方法、データベースの 利用方法など、希望に合わせてご案内します。
情報検索講習会 第1回	6/15(月)~19(金) ①13:05~14:05 ②14:50~15:50	日本語文献の探し方と入手方法をご案内します。 ・CiNii Articles、日経テレコンなど

### 神田キャンパス (神田分館)

図書館入門ツアー	年間随時	図書館の施設や資料、利用方法について、 館内を巡りながらご案内します。1年生または 神田分館を初めて利用する学生にオススメです。
図書館利用案内 応用コース	年間随時	クラス・ゼミナール単位で受け付けます。 各種文献の探し方と入手方法、データベースの 利用方法など、希望に合わせてご案内します。
情報検索講習会 第1回	6/15(月) ①12:20~12:50 ②17:00~17:30	蔵書の検索方法をご案内します。 ・蔵書検索OPAC
	6/16(火)・19(金) ①12:20~12:50 ②17:00~17:30	論文の検索方法をご案内します。 ・CiNii Articles、magazineplus
	6/17(水)・20(土) ①12:20~12:50 ②17:00~17:30	新聞記事・企業情報の検索方法をご案内します。 ・聞蔵II ビジュアル for Libraries、 ヨミダス歴史館、日経テレコン
	6/18(木) ①12:20~12:50 ②17:00~17:30	判例の検索方法をご案内します。 ・LEX/DBインターネット

\*申込先 本館：3Fカウンター、電話 (044-911-1276)、メール (lib-serv@acc.senshu-u.ac.jp)  
神田分館：カウンター、電話 (03-3265-8339)、メール (lib-kan@acc.senshu-u.ac.jp)

\*詳細は開催館のカウンターにお問い合わせください。図書館のホームページ、掲示でもご案内します。

## 紅梅 × 青 = 撫子

今号の表紙の配色は「撫子」という「重(重)色目」<sup>なでしこ かさねのいろめ</sup>です。「重色目」は、平安時代以降、貴族の装束の表地と裏地や重ね着に取り入れられた色の取り合わせです。季節や着る人の性別・年齢によってふさわしい重色目があり、そのセンスを問われました。

「撫子」は夏を代表する重色目です。男女どちらの装束にも用いられましたが、比較的若者の色とされていたようです。4月発行でなぜ夏の色目かと疑問に思うかもしれませんが、10世紀成立の漢和辞書『和名類聚抄』(20巻本)に「夏 四月首夏 五月仲夏 六月季夏」とあるように、旧暦では4月は夏の始まりでした。また、4月1日には冬服から夏服へ更衣が行われ、あわせて室内の調度品も夏仕様にあらためられました。例えば、

平安時代後期の公卿、藤原宗忠の日記『中右記』の寛治6年(1092)4月1日条に「寛治六年四月一日癸丑、天晴、藏人右兵衛尉高階爲行、所雑色等を率いて、例に依りて冬の御装束を撤し、夏の御座を供す」とあり、このころには4月1日の更衣が恒例行事となっていたことがわかります。

今号の配色「撫子」は「源氏物語」胡蝶に登場します。まさに更衣の時期、玉鬘(頭中将と夕顔の娘、この時20歳くらい)の衣装に「撫子の細長に、このごろの花の色なる御小袿、あはひけ近ういまめきて」と表現されています。撫子の着物の上に「このごろの花」、つまり卯月に咲く卯の花の襲(白×萌黄)の着物をまとしており、二種の襲の色合いが親しみやすく当世風である、と描写されています。紅梅色は紅花で染めたもので、紅梅の淡い紅色を表現した色です。この色単体では、清少納言の『枕草子』第23段に「すさまじきもの(興ざめなもの)」として「三、四月の紅梅の衣」とあり、早春の色で晩春や初夏にはふさわしくない色とされています。青は前号(84号)で解説しましたが、緑色を指します。「撫子」はこの2色で花と葉の色を表しています。撫子の花は夏から秋にかけてずっと咲き続けるので「常夏」とも呼ばれていました。

### 【参考文献】

阿部秋生 [ほか] 校注・訳『源氏物語』3(新編日本古典文学全集 22) 小学館、1996

太田耕嗣監修『千年の色 = Colors of a thousand years』太田工芸、2005

古代学協会、古代学研究所編『平安時代史事典』角川書店、1994 丸山伸彦編『日本史色彩事典』吉川弘文館、2012

吉岡幸雄著『日本の色辞典』紫紅社、2000、『源氏物語』の色辞典 紫紅社、2008



# 開館カレンダー (2015年4月～7月)

## 本館

### 4月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 5月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 6月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 7月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

↑7月は日曜も開館します！

赤/休館 黒/9:00～21:00  
 青/9:00～19:00  
 緑/10:00～17:00

## 生田分館

### 4月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 5月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 6月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 7月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

赤/休館 黒/9:00～21:00  
 青/9:00～19:00

## 神田分館

### 4月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 5月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 6月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 7月

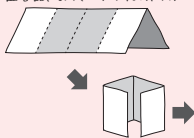
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

↑7月は日曜も開館します！

赤/休館 黒/9:00～22:00  
 緑/10:00～17:00

\*開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示でご案内します。

図書館だよりミニブックの作りか



できあがり



## 専修大学図書館だより 第85号

発行日：2015年4月1日

編集・発行：専修大学図書館（館長 木幡 文徳）

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

Tel.044-911-1274 URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/libif/lib.html>

図書館では、利用者の個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

# レディ・Sからの 挑戦状

～謎解きは授業のあいまに～

ある日、図書館の返却ポストに一通の手紙が投げ込まれていた。  
それは“レディ・S”と名乗る謎の人物からの挑戦状だった。  
彼女からの挑戦を受けるのは、君だ！  
図書館内に仕掛けられた謎を解き明かせ！

**会場：図書館本館（生田キャンパス 9号館3階）**  
**期間：2015年4月1日（水）～6月26日（金）**  
休館日を除く  
**時間：月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00**

## このゲームについて

図書館の中をめぐるながら謎を解く、参加型ゲームです。期間中はいつでも自由に参加できます。参加は一人、友達と一緒に、どちらでもOKです。

## 参加方法

- ① 右にある「はじまりの謎」を解き、学生証・筆記用具・図書館だより No.85 を用意しましょう。
- ② 図書館本館（生田キャンパス 9号館3階）入館ゲート前に隠されている次の謎を探します。（隠し場所の鍵は「はじまりの謎」の答えの中にあります）
- ③ レディ・Sの指示にしたがって、次々と謎を解いていきましょう。
- ④ 謎が解けないときは、生田分館で配布中のヒントを見てみましょう。

## 挑戦者へおねがい

- ・大きな声で話す、走って謎を探すなどの行為は、他の利用者の迷惑になりますのでご注意ください。
- ・SNS等でのネタバレはご遠慮ください。
- ・図書館の人は、謎の答えは知りません。
- ・参加方法等のお問い合わせは libtenji@acc.senshu-u.ac.jp まで。



## 挑戦状

新入生のみなさん、専修大学にようこそ。  
在校生のみなさんも、はじめまして。  
9号館3階に知識の源泉、過去の記録、未来の扉があるのはご存知かしら？  
そこは、「図書館」と呼ばれる素敵な場所への入り口。

早速だけど、私と知恵くらべをしない？  
すべての謎が解けた貴方へプレゼントを用意したわ。  
まずは、次の「はじまりの謎」が解けるかしら？



レディ・S

はじまりの謎

レ	デ	イ	・	S	か	ら	の	挑	戦	状
1	?	2	1	?	3	2	?	9	?	7

か = □      デ + S = △      の + 挑 = ○

さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

答え：□△ー○

図書館本館入館ゲート前で確認せよ!

# レディ・Sからの



挑

戦

状

～謎解きは授業のあいまに～

ある日、図書館の返却ポストに一通の手紙が投げ込まれていた。  
それは“レディ・S”と名乗る謎の人物からの挑戦状だった。  
彼女からの挑戦を受けるのは、君だ！  
図書館内に仕掛けられた謎を解き明かせ！

会場：図書館本館（生田キャンパス 9号館3階）

期間：2015年4月1日（水）～6月26日（金）  
休館日を除く

時間：月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00

## このゲームについて

図書館の中をめぐりながら謎を解く、参加型ゲームです。期間中はいつでも自由に参加できます。参加は一人、友達と一緒に、どちらでもOKです。

## 参加方法

- ① 右にある「はじまりの謎」を解き、学生証・筆記用具・図書館だより No.85 を用意しましょう。
- ② 図書館本館（生田キャンパス 9号館3階）入館ゲート前に隠されている次の謎を探します。（隠し場所の鍵は「はじまりの謎」の答えの中にあります）
- ③ レディ・Sの指示にしたがって、次々と謎を解いていきましょう。
- ④ 謎が解けないときは、生田分館で配布中のヒントを見てみましょう。

## 挑戦者へおねがい

- ・大きな声で話す、走って謎を探すなどの行為は、他の利用者の迷惑になりますのでご注意ください。
- ・SNS等でのネタバレはご遠慮ください。
- ・図書館の人は、謎の答えは知りません。
- ・参加方法等のお問い合わせは libtenji@acc.senshu-u.ac.jp まで。



## 挑戦状

新入生のみなさん、専修大学にようこそ。  
在校生のみなさんも、はじめまして。  
9号館3階に知識の源泉、過去の記録、未来の扉があるのはご存知かしら？  
そこは、「図書館」と呼ばれる素敵な場所への入り口。

早速だけど、私と知恵くらべをしない？  
すべての謎が解けた貴方へプレゼントを用意したわ。  
まずは、次の「はじまりの謎」が解けるかしら？



レディ・S

はじまりの謎

レ	デ	イ	・	S	か	ら	の	挑	戦	状
1	?	2	1	?	3	2	?	9	?	7

か = □      デ + S = △      の + 挑 = ○

さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

答え：□△ー○

図書館本館入館ゲート前で確認せよ!